

日本再生のために真のイノベーション力強化を(概要)

はじめに

「これまで提案されてきた戦略がイノベーションによる経済成長につながらないのはなぜか」を考え、以下の3つの仮説を持つに至った。

- 国の描く将来ビジョンが国民に十分浸透していない
- 官民の関係や産業技術政策が複雑になり過ぎている
- リスクテイクに対する意識及びアクションが弱い

基本的な考え方

1. 国としての大きなビジョンを

- 1) 「国民の幸せ」の前提として国が担保すべきもの
- 2) 前向きな国内雇用の創出を
- 3) イノベーション人材育成についてのコミットメントを

2. 官民役割分担の「原点回帰」

本来の役割分担を意識し、官としては最低限行うべき「リスクをとった人に利益が行きわたる支援の在り方」を、民としては「国民の幸せ」のために企業が果たさなくてはならない役割」を考える

3. No risk-taking, No Innovation

リスクをとることが全てのイノベーション創出の必要条件であるという認識を強く持たなくてはならない。リスクを取ることに對して非常に慎重であり、近年は持続的なプロセスイノベーションによる利益を主に享受してきた日本国民としては、この点についてのパラダイムシフトが最も重要。

イノベーション力強化のためのリスクテイク推進 3つの提言

1. 民間のリスクテイク最大化のために、新たな支援制度ミックスを

- 1) インベンションではなく、イノベーションのための支援を
- 2) 「リスクを取って成長する企業」に行き渡りやすいインセンティブを
- 3) 効果的な国内投資への積極的支援を
- 4) イノベーションを実現しようとするベンチャー企業への支援を
- 5) 過当競争からの脱却を

2. 中長期でのイノベーション創出のために、科学技術司令塔機能の強化を

- 1) 科学技術イノベーション戦略本部を真の司令塔組織に
- 2) 「科学」からのイノベーション推進のための長期投資は国が担保せよ
- 3) 知的財産戦略・国際標準化への取り組み強化
- 4) 新たなコンソーシアム形式による研究開発強化

3. 国家プロジェクトの前提意識を変革せよ

- 1) 国のプロジェクトもリスクテイクであると明言し、正しい評価を行え
- 2) イノベーションの開国宣言
- 3) 規制緩和による、官民一体となったイノベーションへの挑戦

イノベーション力強化のための3つの実行

1. ビジネスイノベーションの推進 (もの・ことづくり)

2. 国の支援制度等も用いた、積極的なリスクテイク

3. 企業としてのベンチャー支援・推進

イノベーション力強化のための人材育成

1. 基礎力の強化
2. 理科系教育
3. グローバルコミュニケーション力とリーダーシップ
4. イノベーション創出のための高等教育改革
5. 企業内教育(研修)の強化 ~ビジネスイノベーション実現のために~

おわりに

これらの施策が政治の強いリーダーシップの下で確実に実行されることを期待すると共に、民間企業としても「日本再生」のための使命に責任を持ち、国民的運動へと発展させていきたい。